

# 学校運営協議会だより

令和7年2月27日(木)、紋別養護学校にて第3回紋別地区特別支援学校学校運営協議会を開催しました。「令和6年度後期の取組」、「令和6年度学校評価」、「令和7年度の学校経営方針」の説明の後、全委員が2グループに分かれ「各校の取組と次年度の学校経営方針について」、「保護者や地域住民の学校運営への参画・連携の促進と、学校運営協議会の効果的な活用について」の2つのテーマで活発な協議が行われました。



## 各学校からの説明（概要）

### 《紋別高等養護学校》

- 生徒同士の良好な関係性の構築を重視し、安心・安全な学校生活を保証していく。
- 学校教育目標の主語を生徒とし、多様性やポジティブな感情を大切にしながら、生徒及び保護者がウェルビーイングを感じることができる学校づくりに取り組む。

### 《紋別養護学校》

- 地域の方の協力で、小学部そり遊びの雪山設営、もんべつ流氷まつりの氷像作り・作品展示、砂入りペットボトル無料配布等、教育活動が充実した。
- つながりの必要性について教職員自身が考え、地域や保護者と「連携・協働」していく学校づくりに取り組む。

### 《紋別養護学校ひまわり学園分校》

- 町内での展示作品展の開催、職場体験学習の実施など、地域資源を活用した教育活動や地元企業・就労先との双方向のつながりが深まった。
- 学校運営に教職員の考えを取り入れ、教職員が主体となって、楽しみながら学校の再創造に取り組む。

## 協議の概要 《委員からの主な御意見など》

### ①学校評価を踏まえた次年度の学校経営方針について

- ・各学校の次年度の学校経営方針を承認する。
- ・福祉や医療の関係者と教職員による合同研修を実施するなど、障がいのある子どもに関わる職員の専門性の向上を目的とした連携があるとよい。
- ・施設入所の子どもやその保護者が抱える様々な背景や課題について、学校と福祉が共通理解を図りながら、効果的な連携を図りたい。

### ②保護者や地域住民の学校運営への参画・連携の促進と、学校運営協議会の効果的な活用について

- ・学校運営協議会の合同開催は、近隣地域では他に例を見ない。互いの取組など情報を共有できる利点はあるが、各校の課題に熟議を深めるためには単独で開催することが望ましい。
- ・紋別で地域の団体が学校に積極的に関わっているように、安国地区でも地域と学校の関わりを深めたい。
- ・本協議会に高校生などの学生が参加することで、共生社会の担い手である若者の育成にもつながる。
- ・紋育バンクを通してつながった地域の方に、連携のキーマンになってもらうよう働きかける。
- ・教職員が本協議会に参加し、現場の声を届けることで協議が一層深まる。教職員が協議に参加できるよう、平日の夕方や夜の時間帯、土日の開催なども検討してほしい。
- ・地域の方が授業や活動に参加し、子どもと関わる機会が増えれば、子どもへの見方や接し方が変わる。
- ・本協議会の会議日以外にも、地域の参観日に来校いただくなど、委員の方が普段の教育活動に触れる機会を設けることで、学校や子どもたちの理解が深まり、熟議につながることを期待できる。
- ・学校運営協議会は、地元の人が学校を盛り上げ、地域が学校を育てるという理念に基づいて進めることが大切である。

本年度3回の本協議会における協議内容を踏まえ、保護者、地域の皆様と連携し学校運営の工夫・改善を図るとともに、教育活動の一層の充実に向け、令和7年度の学校運営協議会を開催してまいります。